

横浜市立中高一貫教育校の設置について

平成 24 年 4 月に横浜初の公立の中高一貫教育校を設置します。

横浜市立中高一貫教育校では『知性・自主自立・創造』を教育理念に据え、6 年間の安定した環境の中で、計画的・継続的な教育活動を展開し、**横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成**を目指します。

1 学校の概要

- (1) 設置場所：横浜市立南高等学校
- (2) 設置形態：併設型の中高一貫教育校
- (3) 開校年度：平成 24 年度
- (4) 学校規模：附属中学校は、1 学年 4 学級 160 人定員
南高等学校は、1 学年 5 学級 200 人定員
(高等学校の入学者選抜を経て入学する生徒 40 人を含む)

2 特色ある教育活動について

(1) 豊かな人間性の育成

ア 主体性を育てる総合的な学習の時間

「さがす」「つかむ」「のびる」をキーワードに、研究機関や企業の方々の協力による講演や体験学習を実施します。

イ 国際交流の推進

海外の学校と姉妹校提携を行い、国際交流を進めます。(6 月調印予定)

ウ 学校行事について

学校行事(含 生徒会活動)は基本的に中学校、高校全体で取り組みます。

(2) 「高い学力」の習得

ア 国語・英語・数学の授業時間数増

附属中学 1 年生から高校 1 年生までの 4 年間、国語・数学・英語の授業を毎日実施します。

イ 少人数教育の実施

英語・数学・理科の授業を少人数で実施します。

ウ 土曜日、長期休業日の活用

土曜日や長期休業日に進路実現に向けた補習授業や習熟度に応じた特別講座等を実施します。

(3) その他

大学、各種機関、企業の方々に「教育顧問」を委嘱し、教育内容や学校経営、キャリア教育への助言をはじめ、開校後は生徒への特別講演や体験学習等について支援をいただきます。

3 附属中学校の入学者の決定

(1) 志願資格

小学校等を卒業又は修了する見込みの者で、保護者とともに県内に住所を有する者

(2) 学区

横浜市内全域。ただし、学区外入学許可限度数は、別に定める割合の範囲内とします。

(3) 選考方法

適性検査及び調査書等により、横浜市立中高一貫教育校で学習をするために求められる資質、能力などの基礎的な力を測るとともに、学ぶ意欲や基礎的な学習の状況を見て総合的に選考し、入学者を決定します。

4 南高等学校に併設する中学校の校名候補選定の経緯について

南高校に係わる、地域の代表者、PTA、有識者などからなる「横浜市立中高一貫教育校の校名選定委員会」の検討を経て、教育委員会で選定しました。

【参考】

入学定員

年 度	南高等学校	附属中学校
平成 23 年度	320 人（8 学級） 現在、高校 1 年生	—
平成 24 年度	200 人（5 学級） 現在、中学校 3 年生	160 人（4 学級） 現在、小学校 6 年生
平成 25 年度	200 人（5 学級） 現在、中学校 2 年生	160 人（4 学級） 現在、小学校 5 年生
平成 26 年度	200 人（5 学級） 現在、中学校 1 年生	160 人（4 学級） 現在、小学校 4 年生
平成 27 年度	40 人（1 学級） 現在、小学校 6 年生	160 人（4 学級） 現在、小学校 3 年生

学級数の推移

年 度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
南高等学校	3 年	8	8	8	5	5	5	5
	2 年	8	8	5	5	5	5	5
	1 年	8	5	5	5	4 + 1	4 + 1	4 + 1
附属中学校	3 年	—	—	—	4	4	4	4
	2 年	—	—	4	4	4	4	4
	1 年	—	4	4	4	4	4	4
総学級数		2 4	2 5	2 6	2 7	2 7	2 7	2 7